

平成30年(2018年)2月25日(日曜日)

水草バイカモ保全探る 三島で日韓交流サミット



日韓の団体が活動報告したサミット＝三島市内

清流でしか育たないとされる水草バイカモの保全に取り組む日韓の団体が活動報告する「第5回国際交流サミット」が24日、三島市のVia701で開かれた。NPO法人グラウンドワーク(GW)三島の設立25周年記念事業。

韓国・江華島で活動する仁荷大の崔仲基教授は開発行為が原因で生息地が減少した経緯に触れた一方、保全を巡る現地市民の雰囲気については「経済的に役に立たないと後回しになりがち」と指摘。市民協働が体现された三島の姿勢を高く評価した。

これに先立ち記念講演したGW三島の渡辺豊博専務理事は三島と江華島双方の魅力である湧水を生かし、ウナギ料理やマッコリ生産でビジネス交流するアイデアを提案した。